

学校関係者評価委員会 評価報告書

(平成28年度 自己点検・自己評価項目対照表、意見の活用状況について)

公益財団法人 愛世会
愛歯技工専門学校

1. 評価

(1) 評価対象 : 平成28年度 愛歯技工専門学校自己点検・自己評価に基づく、学校関係者による同項目の評価

(2) 評価日時 : 平成29年9月9日(土)

(3) 評価者 : 学校関係者評価委員(学校関係者より選出、計4名)

江上 勝二 (卒業生代表、有限会社ユアーズデンタルラボラトリー代表)
高橋 由美子 (保護者代表、78期在籍学生の母親)
吉田 茂夫 (業界関係者、有限会社ラボスクエア代表、港歯科技工士会代表)
榊原 功二 (業界関係者、有限会社榊原デンタルラボ代表)

(4) 点検項目 : 下記のとおりである。

1 教育理念・目的・育成人材像

- 1-1 教育理念・目的・育成人材像が定められているか
- 1-2 学校の特色は何か
- 1-3 学校の将来構想を抱いているか

2 学校運営

- 2-4 運営方針は定められているか
- 2-5 事業計画は定められているか
- 2-6 運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか
- 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか
- 2-8 意思決定システムは整備されているか
- 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3 教育活動

- 3-10 学科の教育目標、育成人材像はその学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか
- 3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか
- 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか
- 3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか
- 3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか
- 3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
- 3-18 資格取得の指導体制はあるか

4 教育成果

- 4-19 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか
- 4-20 資格取得率の向上が図られているか
- 4-21 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか、又退学率の低減が図られているか
- 4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

5 学生支援

- 5-23 就職に関する体制は整備されているか
- 5-24 学生相談に関する体制は整備されているか
- 5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- 5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか
- 5-29 保護者と適切に連携しているか
- 5-30 卒業生への支援体制はあるか

6 教育環境

6-31 設備・施設は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

6-33 防災に対する体制は整備されているか。

7 学生の募集と受け入れ

7-34 学生募集活動は適切に行われているか

7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

7-36 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか

7-37 学納金は妥当なものとなっているか

8 財務

8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか

8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

8-40 財務について会計監査が適性に行われているか

8-41 財務情報公開の体制準備はできているか

9 法令等の遵守

9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

9-45 自己点検・自己評価の結果を公開しているか

10 社会貢献

10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

11 国際交流

11-48 グローバル人材の育成にむけた国際交流などの取り組みを行っているか

(5) 評価値 :

「5」 完璧 / 「4」 かなり進んでいる / 「3」 普通、まずまず /
「2」 やや足りない / 「1」 ほとんど進んでいない / 「NA」 当てはまらない

※学校関係者評価委員内訳（委員氏名等は前頁及び別紙「第4回学校関係者評価委員会議事録」にも記載）

委員	委員種		備考
評価委員A	「1号委員」	保護者代表委員（2学年在籍中の男子学生の保護者）	
評価委員B	「1号委員」	卒業生代表委員（業界関係者）	
評価委員C	「3号委員」	企業等委員（業界関係者）	
評価委員D	「3号委員」	企業等委員（業界関係者）	

大項目	点検・評価項目	自己評価値	自己点検・自己評価項目 総評	学校関係者評価委員の 評価値				学校関係者評価委員の意見
				委員 A	委員 B	委員 C	委員 D	
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 教育理念・目的・育成人材像が定められているか	4	【教育理念】「誠」 【教育目的】歯科技工士の養成 【育成人材像】 ・歯を愛し医の心を大切に歯科医療に貢献する歯科技工士の育成 ・人間美を想像する歯科技工士の育成	5	4	4	5	・創立以来、歯科技工士としての技術だけでなく、人間性・社会性を身に付けた人材の育成を目指している。この伝統を守り続けてほしい。
	1-2 学校の特色は何か	4	「少人数指導」「実践教育（実習）の機会」を重視。実践教育の一つとして、附属の歯科技工所「愛歯技工研究所」や「愛歯技工専門学校附属歯科診療所」、臨床現場で働く歯科医師・歯科技工士から直接学ぶ機会を設けている。	4	4	5	4	・少人数指導と、臨床に近いケースを用いてそれをこなすことのできる人材の育成に努めている。 ・90年の歴史を誇っている。
	1-3 学校の将来構想を抱いているか	4	歯科技工士のなり手が不足し、歯科技工所や歯科医院からの本学学生を対象とした求人は逆に増加傾向にある。本校としては、広報事業をはじめとする学生募集に力を注ぎ、より多くの歯科技工士の育成が急務と自覚している。	2	3	3	2	・昨今の若者の働き手不足の影響が歯科技工業界にも顕著に表れている。如何にして歯科技工という職業の必要性や魅力を彼らに伝えられるか真剣に考えねばならない。
2 学校運営	2-4 運営方針は定められているか	4	本校は公益財団法人愛世会を運営母体としている。年度ごとに方針を定め、また毎月運営理事会等を開催し運営状況の確認及び指針の策定・改善策を審議している。	4	4	4	4	・公益財団法人が母体なので、社会貢献という名目のもと、適切に運営されていくべきである。
	2-5 事業計画は定められているか	4	事業計画は、毎年、公益財団法人愛世会本部に提出され、公益財団法人愛世会ホームページ上で公開している。 特に近年は、入学者確保と就職支援を重要視した事業方針を掲げている。	4	4	4	4	・前向きに計画されている。

2 学校運営	2-6 運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	3	個々の意見や運営上の問題点を科や部単位で会合をおこない、より良い学校運営に役立てている。意思の決定方法については会議により異なるが、決定が困難な場合は複数回会合の場を設けている。	4	3	4	4	・校内の勉強会が毎月開かれ、議論の場として活用されている。
	2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	4	教職員及び従業員は人事担当職員が行っている。雇用契約法等国の法制度に基づき公益財団法人愛世会で人事・給与等の処遇基準を定めている。	4	4	4	4	・国の法制度に基づいている。 ・問題はないと思われる。
	2-8 意思決定システムは整備されているか	4	本校幹部会議「部長会・科長会(各会とも月1回)」等での意思決定の場に加え、所属部署「教育部会(必要に応じ)」または業務担当同士で(毎朝1回)、また、必要に応じて会合を計画・実施している。	4	4	4	3	・必要に応じて会合が開かれているようである。
	2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	求人票の管理を専用ソフトで行い、求人票の送付(宛名ラベルの作成等)に活用している。また、共有ファイル等で教員間での成績や試験問題データのやり取りや管理を行い、円滑な授業運営に活用している。	4	3	3	3	・時代に合わせてパソコンやソフトのアップグレードも適切に行うべきである。
3 教育活動	3-10 学科の教育目標、育成人材像はその学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか	4	技工実習では、基礎実習とは異なる臨床的形狀の作業模型を用い、難易度の高い実習を実践している。また、現役歯科技工士を特別講師とした実習の機会を取り入れるなど、実践的な知識・技術を有した歯科技工士の育成に努めている。	4	4	4	4	・3年制は今のところ現実的ではないが、もっと実践教育の場を増やすことができれば質も上げられるだろう。

3 教育活動	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	4	二年次で歯科技工士免許（国家資格）の取得及び卒業後の企業等への就職を目標とし教育に従事している。 また、少人数のクラス編成で一人ひとりによりそった指導（就職試験対応）を実現している。苦手科目の克服と得意分野の向上に努めている。	4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国家試験のおよそ4か月前から集中的に特訓を行うことでレベルアップを図っており、それなりの効果を上げている。 ・ 少人数制なので個人に合わせた指導ができていようだ。
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	4	カリキュラム（教育内容を学習段階に応じて配列したもの）に基づき、担当教員が科目ごとにシラバス（授業の計画書）を作成し、これを基本に授業を実践している。 毎年、学生の技術、学習レベルに合わせて時間割の組み替えなど編成している。	4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな原理原則が頭に入りやすいように順序立てて伝えられるよう授業を組み立てている。
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	4	学科目の教本（全国歯科技工士教育協議会編集）の内容は、入学して間もない学生には専門用語が多く、一般的に難易度の高いものと考えられる。 そこで、教本の内容を踏まえ、基礎の実習（材料の性質、歯の観察）などを先行してスタートさせるなど、教本と実習がリンクするよう配慮している。	4	4	4	3	1年次は学科が大半で2年次は実習中心のカリキュラムになっている。基礎と応用という形での実践はできているようだ。
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	4	二年次二学期実施の「歯科技工実習」では、特に臨床の仕事を踏まえた実習を実践している。 技工箱に歯科技工指示書と作業模型を学生の人数分準備し、提出日に間に合う様、計画から製作、仕上げまで緊張感のある実習を実践している。	4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生の活躍もあり、企業側の期待は増している。 ・ 実際に臨床で行われるテクニックなどより実践的に指導されるとよい。

3 教育活動	3-15 授業評価の 実施・評価 体制はある か	3	企業等による評価の機会もあるが、クラス担任との個人面談時に各教科の難易度、つまずきについて聞き取り、授業担当者と連携を持ちながら、各授業の評価を専任教員で実施している。	4	4	4	3	
	3-16 育成目標に 向け授業を 行うことが できる要件 を備えた教 員を確保し ているか	3	各分野の知見を有した専門教員が授業を担当している。 専任教員は積極的に学会・講演会、研修等に参加している。また研究者として、研究成果を論文にまとめ学会で発表している。 また、学説科目では大学教授等の第一線の専門家にご指導いただき、専門知識・技術を有した医療系技術者の育成に取り組んでいる。	4	4	4	3	・関連書籍を学生がもっと気軽に閲覧できるような環境を整えられるとなおよい（実習室内に本棚を置くなど）。
	3-17 成績評価・ 単位認定の 基準は明確 になっている か	4	学則に定める100点法、合否基準(60点以上を合格)で評価している。 また、授業時には一人ひとりのレベルにあわせた指導対応を心がけているが、試験時には公正な基準で採点している。	4	4	4	4	・評価時、個別に提出物のどこを評価してどこで減点するのかということきちんと伝えているということなので、評価できる。
	3-18 資格取得の 指導体制は あるか	4	学科目の国家試験対策として模擬試験を10回、必要に応じ試験後成績不良者には面接(学力分析と今後の対策指導)を実践。 実技科目は、20~30回の本番を模した実習を行い、その都度評価表に作品の評価と今後の修正点を明示して作品返却を行っている。 特に実技科目に於ける反復練習による成果は高いと考えている。	4	4	4	5	・国家試験の合格率をこのままキープしてほしい。 ・近年の国家試験での落第は実技よりも学科目のリスクが大きいのと感じるので、学科目対策の時間を大きくしてはどうか。

4 教育成果	4-19 就職率（卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	4	平成 29 年 3 月度卒業者は、正規雇用就職決定率 100%、求職者就職率 100%の実績を残した。 就職担当教員は早期に「個人面談」を実施し、就職に関わる意識を向上させ、希望分野を明確にすることで学生の就職活動をスムーズにし、就職率の向上に貢献している。また、会社見学時のマナー指導や実技試験対策・履歴書の書き方等、各学生の要望に応じて受講可能な就職講座を企画・開講し支援を行い、就職率の向上に努めている。	5	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・会社説明会の時期や規模、回数など適切かどうか一度考えてみることも必要かもしれない。 ・会社見学におけるマナーや服装など指導する機会を設けているのはいいともう。
	4-20 資格取得率の向上が図られているか	4	平成 28 年度は全学生が資格取得。資格取得に関しては、100%取得（全員合格）をめざし指導しており、毎年全員合格または全員に近い合格実績を誇っている。具体的には、成績不良者への補習や再試験等を適宜実施している。また、必要に応じ、保護者等と連携し、激励や学習態度等生活指導に至るまでの指導を行っている。	5	5	5	5	<ul style="list-style-type: none"> ・学力が低い者への補講なども充実しており配慮されている。 ・少人数指導の強みだと思います。 ・合格率をキープしてください。
	4-21 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか、又退学率の低減が図られているか	3	主な退学理由は①「病気疾患、家庭の事情等、個人的事由による退学」②「進路検討時とのギャップなどによる退学」③「成績不良による退学」の大きく三つが挙げられるが、②と③については低減可能と考えている。②については事業所見学による職場環境の様子説明等の機会を設け、業界について理解した上で受験を判断いただくこと。 ③に対しては各クラスで担任が、各学期末を中心に適宜個別面談の機会を設け、つまずきに対して具体的に指導している。	4	3	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導体制により細やかな指導ができており、退学者の低減につながっていると思いますが、退学者がしばしば見られるのは大変残念なことだと思います。入学者の資質の問題もあるのかもしれません。

4 教育成果	4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	少人数制教育により、在學生・同窓生（卒業生）との関係は強いと自負している。実際に卒業生と職教員との情報交換会（年1回、7月）・同窓会（年一回、1月）が（教職員参加）で行われている。また、外国等遠方に在住している卒業生・在學生の活躍の紹介が同窓会報や広報誌等で積極的に紹介されている。	4	4	5	5	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の活躍を同窓会報などに載せられるよう情報収集の強化も必要。 ・一部の卒業生が度々学校を訪れるというのは教職員の積み上げてきた絆のようなものの顕れ。素晴らしいことです。 ・卒業生との結びつきが強く、評価している。（同窓生意見） ・今後も定期的に同窓会を開くことが必要。
	5 学生支援	5-23 就職に関する体制は整備されているか	4	在學生については、毎年6月末頃に校内で合同企業説明会を実施し、業界内の中～大規模企業について理解を深めた後、就職担当が個人面談を実施し、個々の就職希望・意志についての明確化を促している。また企業からの「求人票」を公開し、学生の希望に応じて就職担当が企業と連絡を取り、就職活動を支援している。卒業生には適宜個別相談対応している。再就職を希望する者に求人の紹介を行っている。	4	4	5	4
	5-24 学生相談に関する体制は整備されているか	4	本校では、担任制を採用し、主にクラス担任が学生相談の窓口になっている。その他、相談内容や個人のおかれている状況によっては、教務主任をはじめとする他教員や事務職員の適任者が対応する。	4	4	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・良いと思います。

5 学生支援	5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3	在学中に使用する材料費等、学生の負担低減が検討できるものに関しては、毎年、購入検討、業者・品番の再選定などによる価格の見直し等低減を講じている。学費納入支援制度として本校独自に分期納入制度を設けている。また、奨学金制度の紹介等、個々のおかれている状況や家庭の事由を踏まえた上で、個別相談対応を行っている。	4	3	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金制度をしっかりとアナウンスしているので利用者も多い。 ・寮費を格安にするなど学生を慮っている。 ・学費の分納にデメリットを設定していないところが良心的だと思う。
	5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	毎年5月頃、全学生を対象に健康診断を実施している。また、怪我等の処置・体調不良者については学内の保健室と徒歩7~8分程でアクセス可能な公益財団法人愛世会グループの「愛誠病院」(救急対応可能)で対応している。また、愛誠病院では専門医による精神面での健康管理・サポートも可能である。なお、授業担当者をはじめ、担任・副担任が学生の体調変化に気を配っている。	4	4	5	5	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の教職員もいるので適切な対応ができていると感じます。
	5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	学内外の講演会等の参加を積極的に勧めている。(ポスターの掲示・口頭での紹介)また、学生の自主性を尊重し、学業及び学生生活に支障がない範囲であれば専攻分野(歯科技工)以外での課外活動も勧めている。	4	3	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな講演やイベントなどの掲示物があり充実してきている。
	5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	利用費が安価な学生寮を設けており、遠方からの通学が困難な学生が利用している。また、本校の食堂や寮の食堂、体育室の利用が可能である。	5	4	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設は必要な生徒に活用されている。食堂での食事も比較的安価な業者と契約しており、栄養バランスもよく利用しやすいと聞いている。

	5-29 保護者と適切に連携しているか	3	年間行事予定等情報の提供・共有や、成績不良者への激励・素行不良者への生活指導等の個別指導で連携している。	4	3	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と必要に応じて緊密に連絡を取っている。 ・成績表を生徒への手渡しではなく自宅へ発送されてくるのでもらいそびれることがなくて助かる。
	5-30 卒業生への支援体制はあるか	4	希望者対象に個別相談や再就職支援を適宜行っている。また、在学時より少人数制で一人ひとりに寄り添った指導により、「何かあったら相談できる」人間関係・環境づくりに努めている。同窓会報等での活躍紹介や、事業等の広報を可能にしている。	4	4	5	5	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後、仕事についての悩み相談などで訪れる生徒も多いと聞いている。
6 教育環境	6-31 設備・施設は、教育上の必要性に十分対応できよう整備されているか	3	設備・施設についてはその都度点検・修理し、必要に応じて年度予算の範囲で購入している。平成26年度からCAD/CAMを導入し学生教育に活用している。	3	4	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・CAD/CAM教育など取り入れて頑張っていることは評価できるが、活用の度合いでいえば少し足りない。予算の問題ではあるが生徒一人当たりの台数を増やしてほしい。
	6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	例年10月～11月に実施する歯科関連企業見学等、実践的な知識の習得のための機会を設けている。また「研修旅行」では国内外の学会に積極的に参加している。インターンシップに関しては、(夏期休暇中に)受け入れ態勢のある企業を対象に、(希望者には)参加させている。	4	4	5	5	<ul style="list-style-type: none"> ・息子が昨年の台湾の学会参加のための研修旅行では大いに刺激を受けたと申しておりました。

	6-33 防災に対する体制は整備されているか。	4	毎年、全学生・全教職員で防災訓練を実施している。訓練時に、板橋区の消防署職員に訓練の様子を見ていただき、改善点等アドバイスを受けている。また、例年校内教職員から2~3名が板橋区消防署主催の消防大会に参加しており、防災意識・技術の向上に努めている。	4	4	4	4	・危険な道具を扱う仕事なので防災に対する意識は高い方だと思うが、建物自体の老朽化が一部みられるので点検・整備を怠らずに注意してほしい。
7 学生の募集と受け入れ	7-34 学生募集活動は適切に行われているか	3	本校では、進路検討者に「体験入学」での授業体験や、「授業見学」「職場見学」で実際の様子を見学した上での自発的な進路決定を勧めている。また、正確な情報提供と進路検討者・周囲との関係構築が募集活動においては重要であると考えている。関東圏を中心とする高等学校へ訪問し、進路指導担当教員に対して本校の教育成果等情報を提供し、出張授業の企画・運営等を行った。	3	3	4	3	・諸先生方の尽力むなく閉校が決まってしまう残念というほかない。時代の流れを感じずにはいられない。 ・頑張っていたのは認めるが、本当に適切な活動だったのか。もっと同窓会などに協力を求めてもよかったのではないか。
	7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	高校訪問時の高等学校教員の話から、歯科技工士という職業の存在を「知らない」高校生が多いとの情報を得た。体験入学で「進路検討時に初めて歯科技工士の存在を知った」という声も聞く。教育成果の周知及び学生募集活動にあたって、「歯科技工士の職業理解」が不可欠であると深く痛感しており、平成28年度も校内ガイダンス、高校訪問、出張授業（二校実施）等で歯科技工士の職業理解ならびに本校の実績等の情報公開・提供に努めた。	3	3	4	3	・ホームページを見て来校した学生は歴史に裏打ちされた技術力に期待していることが多いということなので、正確に伝わっているのではないのでしょうか。

7 学生の募集と受け入れ	7-36 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3	試験では本校の求める学生像、募集要項に記載した情報に基づき判断している。また、歯科技工士は一般職とは異なり知識だけでなく作業面での適性等「実技」が重要な判断基準となる。そのため、入学選考ではイベント「体験入学」参加時の作業の様子や一般入試「彫刻試験」受験時の様子も考慮しており、その旨は事前に告知している。なお、適正かつ公正な判断のため、面接試験時に試験監督を2名の教員が担い、多様な視点から選考している。また、可能な限り年度内で同一教員が監督官となることで、同一基準による入学選考を実現している。	4	4	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・公平かつ公正に行われている。 ・体験入学は適性を判断する上で良い機会だと思う。 ・入学希望者が少ないので、どうしても審査が甘くなってしまう側面もあると思うが、実際の在生を見る限りさほどひどい生徒はいないようです。
	7-37 学納金は妥当なものとなっているか	4	学生負担低減のため材料費等の見直し・改善に適宜取り組んでいる。本学の学生定員充足率や経営状況をふまえると学納金の増収が望ましいが、学生や家庭の負担を考え、平成30年度も値上げは行わない。	4	4	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・閉校を前に苦しい部分もあるが、最後まで面倒を見てほしい。
8 財務	8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	2	ここ数年、学生募集等収入の面で安定しているとはいえない。幸いにも本校は附属研究所を併設しており、経営を一体化していることが強みとなっていた。募集活動に力を入れていたが及ばず、平成30年度を最後に閉校が決まっている。	3	3	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・経営は逼迫しているからこそこの閉校だと思う。今までお疲れ様でした。

	8-39 予算・収支 計画は有効 かつ妥当な ものとなっ ているか	3	平成 28 年度予算については 財務状況等をふまえ、予算 縮小を決定した。しかしな がら、学生使用教室等の設 備保守代は必要であるため 確保するなど、予算の中 でも、必要経費と優先順位 をふまえた経費の支出計画 が重要である。	3	3	3	3	・学生の募集をしなくなった分、 在学生の生活環境に力を入れて ストレスなく過ごせるようにし てほしい。
	8-40 財務につい て会計監査 が適性に行 われている か	3	毎年本部である公益財団法 人愛世会の監査員（会計士） が会計監査を実施している。	3	3	4	3	・適切である。
	8-41 財務情報公 開の体制準 備はできて いるか	4	ホームページにて公開して いる。	3	3	4	4	・確認できる。
9 法令等の 遵守	9-42 法令、設置 基準等の遵 守と適正な 運営がなさ れているか	3	厚生労働大臣指定の一専門 学校として、法令・設置基 準を守り運営している。ま た、適切な運営のため学則 内で規律等に関して制度を 設け、入学前や入学時の保 護者会等の機会以学生なら びに保護者への周知に努め ている。	4	3	5	4	・なされている。
	9-43 個人情報に 関し、その 保護のため の対策がと られている か	3	状況に応じて、個人情報の 取り扱い・保護及び公開の 対策を講じている。例えば、 学籍原本は鍵で施錠し、限 られた者しか保管場所を知 ることのないよう努め、必 要な時に持ち出し・管理を している。データ等はパス ワードを設定し管理してい る。また、事務室内を対象 とした個人情報保護に関す る外部企業の監査が毎年一 回実施されている。	4	3	4	5	・しっかりと管理されているこ とと思います。

9 法令等の遵守	9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	毎年自己点検・自己評価を実施しており、評価項目並びに評価後の改善策について、部会等で審議している。	4	3	4	4	・前向きに務めている。
	9-45 自己点検・自己評価の結果を公開しているか	3	平成26年度自己点検・自己評価報告書は、作成済み、ファイルにまとめ閲覧可能にしている。また、現在リニューアル中のホームページ上で公開を予定している。	4	3	4	4	・確認できる。
10 社会貢献	10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	近隣の施設への駐車スペースの貸し出しや、高等学校等生徒のインターンシップの受け入れ（愛歯技工研究所）、小中学生の見学受け入れ等を実施している。 附属の「愛歯技工研究所」・「愛歯技工専門学校附属歯科診療所」や本校の運営母体である公益財団法人愛世会グループの「愛誠病院」「シルバーピア加賀（福祉施設）」「上野クリニック（人間ドック等健康診断実施機関）」によって、主に医療福祉面での社会貢献に力を入れている。	4	3	4	5	・インターンシップの受け入れや、見学の様子など話を聞いている。
	10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	学業に支障のない範囲であれば学生の自主性を尊重し、各自の判断による参加を認め、活動を支援している。	3	3	3	3	・各自の判断に任せているということで、結構です。

<p>1 1 国際交流</p>	<p>11-48 グローバル人材の育成にむけた国際交流などの取り組みを行っているか</p>	<p>4</p>	<p>本校では、国内外の多様な視点から物事を捉えることができ、一医療人ならびに一歯科技工士として、知識や技術を積極的に周囲から学び、医療福祉分野・社会に惜しみなく活かし貢献できる人材を「グローバルな人材」と捉え、このような人材の育成を目標としている。平成 28 年度、29 年度もロシアから来日した「クワタカレッジ」受講生 16 名と授業内外で交流した。</p>	<p>5</p>	<p>5</p>	<p>5</p>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校名誉校長の桑田先生のクワタカレッジ受講生として最近もロシアから歯科医・歯科技工士が訪れたと聞く。他校に比べそういった点でグローバルな風を感じる事ができているのではないか。 ・しばしば中国からの入学者などもいるので友人関係でも国際的な感覚の醸成に役立っていると思う。
---------------------	---	----------	---	----------	----------	----------	----------	--

2. 学校評価委員会委員の主な意見のまとめとその活用状況について（現状報告）

意見概要	評価委員のコメント	学校側の見解、活用状況について
<p>閉校に伴う学生募集の停止について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、主題として挙げなければいけない「閉校に向けて学生募集の停止」について具体的にどのようなことをしていくべきか。 ・在学生たちに対しどのようなアクションを起こすべきか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>在学生の処遇について</u> まず我々がしっかりと示さなければいけないのは、在学生の今後の処遇です。閉校が決まったことを伝えた際に、君たちの卒業までの学校の存続は保証する、ということを明言しました。特に1年生については留年する余裕がないので気合を入れるよう激励した上で、我々も覚悟を決めて彼らの学力、技術力を底上げすることを約束しました。 ・<u>お世話になった高校への告示について</u> 書面にてお伝えした。また特に懇意にしていた高校については直接出向き、お伝えした。 ・<u>本年度の体験入学者について</u> 入学を検討して頂いていた学生へ速やかに連絡を行い閉校する旨をお伝えした。 ・<u>ホームページについて</u> 閉校が決まった時点で学生募集の停止を告示しています。 ・<u>各種手続きについて</u> 東京都、板橋区にそれぞれ閉校の手続きを行っている。

意見概要	評価委員のコメント	学校側の見解、今後の活用方法、活用状況について
<p>教育課程(カリキュラム)編成について、授業について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技術教育により重きをおいて即戦力になるような人材がほしい。 ・臨床をふまえた模型の扱い方やミスしたときにどのように対処するかなど、心構えと柔軟な対応力を伸ばすことのできる授業が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>実践・技術教育について</u> 実技重視の教育、「手が動く」学生の育成は、開校以来の特色であり、業界企業等からも本校に求められている点だと思えます。実習時間の多さは本校の特筆すべき点ですので、それを活かせるように無駄な時間のない授業を心掛けていきたいと思えます。 ・<u>臨床をふまえた技工について</u> そういったことはやはり即戦力か否かといったことに関わってくるポイントになると思えますので、日々細かく指導していきたいと思えます。

意見概要	評価委員のコメント	学校側の見解、今後の活用方法、活用状況について
資格取得対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・マークシート方式の模擬試験や実技科目の反復練習は必要である。 ・昨年度、実技の彫刻で例年出たことのない部位が指定されたので今まで慣習的に練習してこなかった範囲もやる必要があるのではないか。 	<p>本校では、現在、国家試験対策として学科目の模擬試験を10回、必要に応じ試験後成績不良者には面接(学力分析と今後の対策指導)を実践しています。実技科目は、20~30回の本番を模した実習を行い、評価表に作品の評価と今後の修正点を明示して作品返却しています。</p> <p>予想外の出題がなされたと聞いてこちらとしても肝を冷やしましたが、普段の練習量及び勉強量が功を奏したのか、幸いにも不合格者は出ませんでした。しかし、今年度はそのような油断のないように実習範囲を広げて試験に臨ませたいと考えています。</p>

意見概要	評価委員のコメント	学校側の見解、今後の活用方法、活用状況について
就職対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・会社見学のマナー指導などは重要である。 ・企業説明会が校内で開催されるのは学生の負担も少なく良いと思います。 	<p>会社説明会や会社見学の機会は、(就職活動中の)学生にとって、業界理解を深め、様々な企業を比較し、進路を検討する良い機会だと考えています。今後も、このような活動・指導をすすめていきたいです。</p>

意見概要	評価委員のコメント	学校側の見解、今後の活用方法、活用状況について
卒業生の社会的な活躍の把握について	<ul style="list-style-type: none"> ・この点のコミュニケーションは難しい。同窓会の協力が必要。 ・卒業生と教職員の結びつきは深いと感じる。同窓会もその一つである。 ・教職員室に卒業生が訪ねてくるという話を聞くが、特定の卒業生が反復しているようだ。もっとまんべんなく彼らの情報を得られるようにSNSなどでつながってみてはどうか。 	<p>卒業生の社会的な活躍、取組みの把握に関しては、意見でいただいたような同窓会との連携が不可欠であると考えています。今後も同窓生役員との意見交換の場や交流の機会を積極的に設けるなど、皆さんの活躍の把握に努めていきたいです。</p> <p>SNSなどの活用については、愛歯のホームページにて公式Twitterを載せるなどしておりますが、活用しているとは言い難い状況です。閉校に合わせ卒業生がどうなったのか把握するための同窓会組織が新たに必要なのかもしれません。</p>

意見概要	評価委員のコメント	学校側の見解、今後の活用方法、活用状況について
情報提供、保護者との連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提示や雑誌等の閲覧の勧めをもっと充実すると良い。 	<p>現在、学生への学会・講演会への参加の勧めをHRなどで行い、情報提示に努めていますが、今後も一層の情報提示に努めていきたいです。</p>

資料作成日：平成29年9月11日